

## ■神戸の話題から(1)

## 第二回井植文化賞の

## 受賞式より



井植文化賞の第二回受賞者の表彰式が、8月5日井植記念館で開かれ賞状と副賞が贈られた。

井植文化賞は、三洋電機株式会社の創業者故井植歳男氏が逝去されたとき、故人の遺志によって、持株の一部、約十億円を社会福祉や教育文化事業のために寄贈された。故井植歳男氏は「自分はゼロから出発した人間なのだから私財の一部は社会へお返ししなければならぬ」といわれていたが、その理念を実現されたものである。

これを基金にして、財団法人井植記念会が設立され、福祉事業をはじめ各分野で積極的な事業が進められている。

このなかで、前年はじめて井植文化賞が設立された。

文化芸術、社会福祉、地域活動、科学技術、報道出版の五部門で、前年度、各部門で活躍した、兵庫県に関わりあいの深い人のなかから受賞者が選ばれている。

賞状とブロンズのライオン像、

副賞として、それぞれ二十万円が贈られている。

文化芸術部門は山田幸平氏(大阪芸大教授)が、「ドストエフスキーのすべて」を同人誌「くろおべす」「たうろす」に永年にわたり掲載。また、長編小説「トレドの稲妻」をこれも三十七年から「たうろす」に連載、両著を四十八年にまとめて神戸の蜘蛛出版社から刊行し、いづれも力作として高く評価され受賞している。

社会福祉部門では、家庭養護促進協会のケースワーカー、小畑延子さんが受賞された。幼児期に不慮の事故で、両親第二回節から先を切断したが、人柄はあくまで明るく、自ら身障者でありながら、昭和41年から前記協会に勤務、恵まれない子供たちと母親とのパイプ役として活躍し、人望も厚く、趣味の書道も現在までに日展入選三回というキャリアの持主である地域活動部門では明石市民のコ



井植記念会理事井植祐郎氏(左から四人目)を囲んで受賞者の皆さん

# 井植文化賞第二回受賞者表彰



科学技術部門賞を受ける杉山武敏氏

コミュニティ活動を代表として明石市公民館運営審議会議長伊藤悌氏  
が受賞、高齢者大学、婦人学級などプログラムの提供。文化体育サークル活動、青少年クラブ活動の実施、地域住民の住民サイドの活動も活発化して来て、コミセンを通じて連帯意識が高まり、住民参加の新しい町づくりが全国的に注目されている。

科学技術部門では杉山武敏氏（神戸大医学部教授）が受賞。「染色体レベルでの細胞癌化機序」という論文でガン細胞研究に画期的な功績と役割を評価されたもの。

報道出版部門では、神戸空襲を記録する会を代表して君本昌久氏が受賞した。「神戸空襲体験記」総集編は、戦争の惨禍を二度と繰返すな、と市民があらひのままの空襲罹災の実際を語ったものを写真と地図を加えて刊行したもの。

また、この「神戸空襲体験記」を基盤に県下を四地区にわけ、各地の体験をつづり「郷土の空襲」（四分冊）を企画、子供たちに戦争を語り合う機会をつくりだすことに成功した財団法人兵庫県学校厚生会、理事長曲淵義雄氏にも同じ報道出版部門賞が贈られた。受賞式終了後、舞子ビイラで受賞者を囲んで和やかなパーティがひらかれた。

■神戸の話題から(2)

# SHINCON

(第14回日本SF大会神戸大会)

## 大成功の記

(8月23日、24日  
於神戸文化大ホール)

清水 宏祐

▲SHINCON実行委員長▼



イントロの音楽が終りに近づくと、緞帳が開く。それに続いて007のテーマ、私の出番である。ゆっくりと五つ数えてから舞台へ向かう。スポットライトが当たる。何ということだ、目の前が真っ白に光って舞台の中央も、マイクの位置も分らないではないか。スポットの光の為である。必死になってマイクを捜しながら、しかしできるだけさりげなく、中央へ歩く。そして開会宣言。

何とかごまかせた、と思っていた。後で聞くと、コチコチになっていて、まるでロボットみたいだと言われた。くそっ、あれは別の上がついていた訳ではないのですよ人が必死にマイクを捜しているというのに、何も知らずに笑いやがって。ちくしょう、笑いたければ笑え、さあ笑え、今笑え。

ともかく、こうしてSHINCONは始まったのである。

開会宣言の後は、裏側に回って連絡や報道関係の係をしていた。実行委員長たる者、ロビーに出て切符売りや即売等という仕事をする訳には行かないのだろう。そこで気の付いた事を二つ三つ。

南山宏氏の講演がかなり長びき次のプログラムにくい込みかけた時、既に到着されていたSF作家の一人がボツリと言った。

「一時間の講演なら、彼には二十分と言っておかなくちゃ……」  
楽屋中がどつと笑いに包まれた。南山さん、ごめんね。

「地獄八景」(桂米朝公演)では、地獄の六道の辻で亡者が質問する部分「文芸講演会、えらい事やってまんのやなあ」「ええ顔ぶれやでもし。有島武郎、芥川龍之介、太宰治、川端康成、三島由起夫。テーマが自殺について」その後で「司会が星新一、あれもうじ

## 第14回日本SF大会

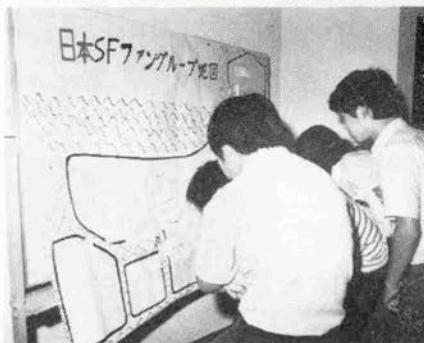


開会のあいさつをする筒井康隆氏





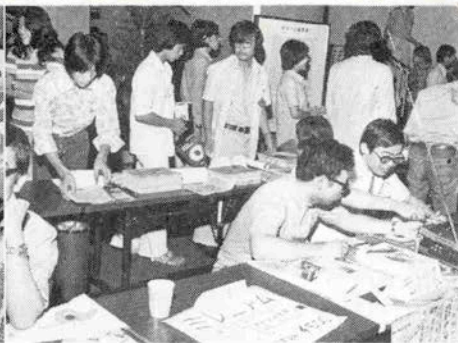
パネルディスカッションに出席した左より筒井康隆、矢野徹、平井和正、小松左京、扇村卓、高斎正、田中光二、星新一、豊田有恒、山田正紀のSF作家諸氏



オレたちのグループも書き込もう



会場は若者で超満員



ファン誌の販売にも熱が入る

き自殺するんだっか」というギャグが飛び出したりした。もちろん場内は爆笑の渦である。

ジャズの時、予期しないハプニングが起こった。演奏が済み、幕が下りた後も一向に拍手が鳴りやまず、ついには全員で手拍子を打ち始めたのである。カーテンコールの用意をしていなかったもので、あわてて山下洋輔、筒井両氏を呼びに行った者や、ライトや幕の係に指示する係は悲鳴を上げた。しかし、それはうれしい悲鳴だったに違いない。

「スタア」(「樺」公演)はすばらしかった。すばらしい、と言う以外に言葉が見つからないのだから仕方がない。実はラストシーンで私は涙を流してしまったのだ。別に悲しい訳ではないのだが、人は時として感動した時に涙を流す。単純人間と言われればそれまでだが、私は東京まで出かけて行っても見る価値があると思うのである。

こうして、大成功(と言っても許してもらえらるだろう)の内にSHINCONは終わった。そこで、本会の開催に御協力下さった役員の方々、作家諸先生方、その他の方々にも深く感謝いたします。みなさん、本当に有難うございました。

△なお、満員の為、入場できなかった方々に深くお詫び致します。△

# フレッシュな味。

## 神戸生れの六甲牧場



HANA

★喫茶店・洋菓子店に！  
牛乳  
生クリーム  
ケーキ用クリーム  
コーヒー用クリーム  
各種アイスクリーム  
ソフトミックス  
★ご家庭に！  
ヨーグルト  
プリン・ジュース  
フレッシュ牛乳

株式会社  
六甲牧場

〒657 神戸市灘区篠原南町6丁目1-25  
電話 神戸 (078) 801-6000 (代表)

★ご用命しだい営業マンガ直ちにお伺いします。

インテリア  
総合商社

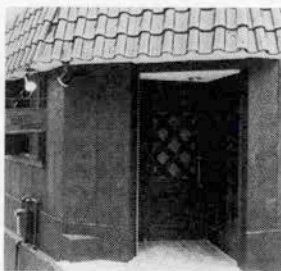
# キング アドバンス

お問合せ ☎231-6450

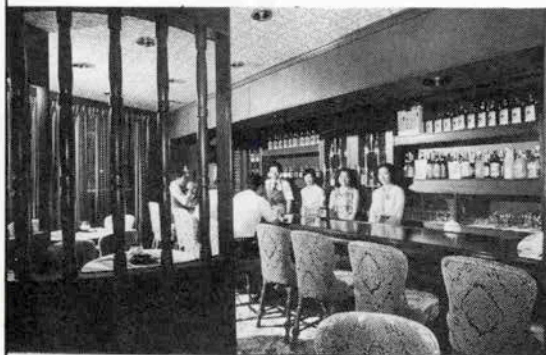
●インテリア  
コーナー<2>

king's lounge

設計施工  
キングアドバンス 大原 寛



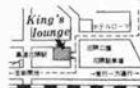
一日に一度は  
足を運びたくなる  
インテリアの総合商社。キング  
アドバンス。が設計したこの花  
限にある「キング スラウンジ」  
は、モダンとアンティークを調  
和させた粋なインテリアです。



昼は喫茶店に、夜は 安価、ムード、盛りたくさんの美女  
三拍子を鉄則にスタートしたのが「キングス ラウンジ」です。  
ティータイム 9時～6時 ドリンクタイム 9時～1時 飲んだ後  
コーヒー¥200 ボトルキープ ティチャー¥5,900 フルーツの  
デザート¥5,900 デザートを  
オーダー¥5,900 サービス。

king's lounge

神戸市生田区北長狭通6ノ11ノ1  
☎(078) 351-6835



# ★神戸っ子

## トラベルコーナー



### 神戸っ子海外旅行アトラダム

#### ●神戸っ子愛読者優待海外旅行

##### <ハワイ6日間>

¥176,000を¥120,000

(定価) (愛読者サービス料金)

12月11日(木)～12月16日(火)

コース/大阪→東京→ホノルル→東京→大阪

##### ★到着日の昼食のみ

##### <ヨーロッパツアー>

①パリフリーコース ¥228,000 (定員60名)

11月1日(土)～11月9日(日)10日間

②パリ・マドリッド・ローマコース

¥308,000 (定員40名) 9月30日(火) 〆切

##### ★お申込みは

月刊神戸っ子トラベル係 ☎078 (331) 2246

#### ●ユニークな海外旅行

##### ① 南太平洋の旅

###### ① ニュージーランド 8日

¥298,000 (全行程朝・夕食つき)

9月4日(木) 10月9日(木) 11月6日(木)

昭和51年1月1日(木) 2月5日(木) 3月

25日(木) 出発

###### ② ニュージーランド

###### ニューヘブリデス 8日

¥358,000 (全行程朝・夕食つき)

10月9日(木) 11月6日(木)

昭和51年1月1日(木) 2月5日(木) 3月

25日(木) 出発

###### ③ ニュージーランド・トンガ

###### フィジー12日

¥498,000 (全行程3食付/自由行動の日は

昼食なし)

12月25日(木) 昭和51年3月18日(木) 出発

お問合せ 日本旅行神戸中央営業所

生田区元町通1丁目48 ☎321-4531

または 月刊神戸っ子トラベル係 ☎331-2246

#### ●ユニークな海外旅行いろいろ

##### ④ 東アフリカ・サファリへの旅

昭和50年12月26日～51年1月11日 (17日間)

¥650,000

定員2名 (サファリバス2台)

〆切50年10月31日

エスコート/澤岡康年 (アフリカスペシャリスト)

##### ⑤ ロッテルダム号 (オランダ客船38,000トン)

###### 船旅

バンコック (51年3月8日) パタヤビーチ遊覧

地→ロッテルダム号→香港 (51年3月14日) →

広州1泊2日のツアー予定中→神戸港 (51年3

月20日)

¥650,000ファーストクラスバス付

定員20名申込〆切日昭和50年12月30日

##### ⑥ ブリセンダム号 (オランダ船1万トン) 船の旅

香港 (51年4月29日連休初日) →基隆 (51年5

月2日) →神戸 (51年5月5日) ¥250,000⑦

グレイド

定員30名申込〆切昭和50年12月30日

⑧～⑩ともに取扱代理店は

ドッドウエルトラベルサービス 神戸 (251)

0021 大阪06 (443) 8722東京03 (211) 2141内

線754

##### ★お問合せお申込みは神戸っ子トラベル係へ

TEL078 (331) 2246

##### ⑨ ヨーロッパ冬の旅

新年をローマで迎えよう

昭和50年12月20日～昭和51年1月10日 (22日間)

¥348,000

東京→アテネ→イスタンブール→ソフィア→ベ

オグラード→ヴェニス→フロレンス→ローマ

→マドリッド→ジュネーブ→パリ→東京

オリエンタル急行で訪ねる東欧の香り

申込金¥50,000 (定員30名/ローン可)

##### ⑩ ニュージーランドの旅

I ニュージーランド1周12日

昭和50年8月24日(日) 9月14日(日)

11月2日(日) 12月28日(日) 昭和51年2月8

日(日) <全行程3食付> ¥538,000

II オーストラリア・ニュージーランド

ラロトンガ・フィジー14日

昭和50年10月5日(日) 12月28日(日)

昭和51年2月8日(日)

<全行程3食付> ¥615,000

取扱い 日本旅行 神戸中央営業所

神戸市生田区元町通1丁目8 ☎321-4531

##### ★お問合せ、お申込みは神戸っ子トラベル係

☎331-2246





動物園飼育日記

111—亀井一成

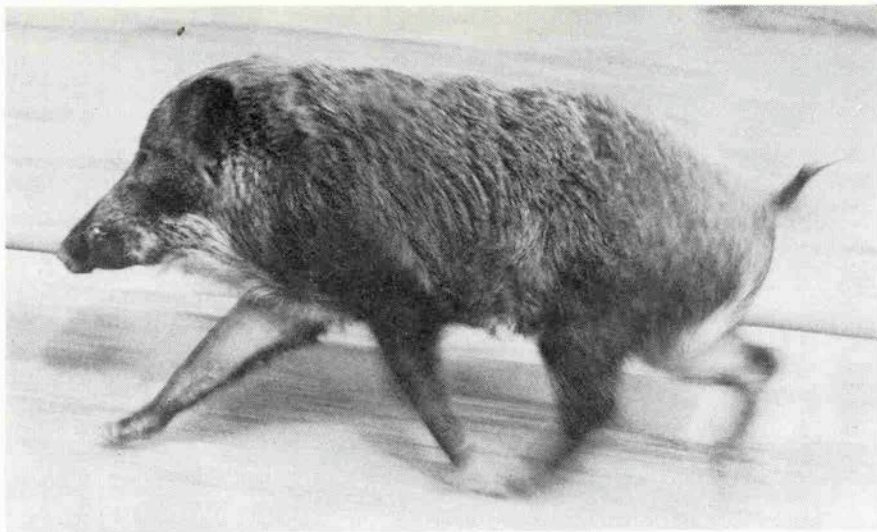
ないしょ話シリーズ〈33〉

逃げろ！六甲の若シシ



王子動物園前広場にも「鳩おばさん」がいる。だが、朝6時だともう遅い。5時前に一番のりしないと、せっかくビニール袋いっぱいもってきたパンのヘタをきさんだエサにも見向きもしないで鳩の一群はすげなく頭上をかすめて通ってしまう。

「わてだけに待ってくれますねん」ひとりまがりの鳩おばさん。このところ5人にもなった。そのせいで三番手ぐらいのおばさんにはもう見向きもせずパン屑を散か



イノシシはその名のとおり猪武者であることをお忘れなく

したまま木かげに羽をやすめてしまう。それでもあれこれ鳩たちのご機嫌をとっていらっしやる光景を毎朝のよ

うに見かけた。

こんなことを記すと、またまた「来ない鳩おばさん」を待つ飢えた鳩たち。などと美談に書きたてられるかも知れないが、それではまことに困る。

王子動物園周辺だけでも一千羽はくだらない大群の鳩になつてきており、動物園前外科病院や附近のビル、さらに周辺にある体育館や学校など、果ごもった鳩の糞公害になやみとうしていること、この「鳩おばさん」たちご存知なのだろうか。

ひとときの楽しみを個人のものにして、あとは知らん顔だ。という餌やり反対論者の声もあるのだが……。

#### 〔餌つけ是非論〕

つまり、こうした野性への手だすけが、ひょっとしたら、色んな意味で「おせっかい」になっているかも知れない。そう考えさせられる街の美談がこのところ多いのである。

たとえば、クマと並び、日本の猛獣としてさえランクづけられる野生イノシシへの餌つけがそうである。毎年一、二月交配のあと五、六月頃一産に六、八頭もの子が生れるが、その子たちには白いたて縞があつて、それを「ウリ坊」などともよんでいる。その小さなウリ坊は生時から眼も見え一時間もするとかなりの速さで親のあとを追って行く。親のあとをはぐれまいと、けんめいに追って歩くウリ坊の一群を見かけるのがこうした生後間もない頃。これは子にくみこまれた親への後追い行為でもある。ところが残念なことにこうした親子連れを見つけたお方たち、見逃がしてやればいいものを、すぐひつ捕えては動物園に飼いまへんか、とやってくる。そうかと思えば、彼等の通る道を知ったお方は、ちょっと馴らせてやろうと餌つけをはじめ。ともかく動物たちはご馳走には至って弱い。

いや、気心を知れば、こともなくヒトを信じる一面を



もっている。

そのうえ、そうした食物から知り得た人間社会の「すき間」を彼らは決して忘れない。もう誰かが餌やりをしなくなっても、ときとして彼等はそこに姿を見せ続ける。それが、子獣から成獣へと受け継がれるのだ。

「たいてい秋から冬。山野のエサがとほしい頃に姿を見せるイノシシが、このところ夏にまで顔出しをはじめ、『ユリネ畑』が全滅寸前やノ」「なんとかイノシシを追っばらう方法おまへんか」、近頃六甲や摩耶山周辺でこうしたイノシシたちの畑荒しの苦情相談が多くなった。

#### 〔荒っぽいヤング猪〕

ちなみにイノシシ全国捕獲数昭和48年度四九、四九八頭（九七五年鳥獣関係統計による）しかも各府県別に見ると全国第一位が兵庫県で六、三二六頭も狩猟されている。また、兵庫県の現状と題して県自然保護協会の報告資料にも、森林面積当りイノシシ生息密度を換算

すれば全国一、二位を争うことになる、とある。つまり逆にいえば、それだけ、農作物に対する被害も大きいことをのべている。

それをうらづけるように休猟区である六甲やまや山周辺のイノシシ生息密度も最近ことのほか高くなってきている。

イノシシは元来が夜行性というが動物園で飼ってみると日中でも活発に動きよく食べるが、ともかく彼等は地表を掘りおこしてエサを食べる習性があるものだから暇さえあれば所かまわず、掘りまくる。それをユリ畑でやられたのだから、ヒト足ちがい生々しいヒズメ跡とハナ先で掘り荒されたその現場に立つて、くやしがるお方の姿が目に見えてくる。だが、イノシシはその名のとおり猪武者であること決ってお忘れになってはいけない。ものの覚えは犬に負けないくらいだが、ヒト見知りをよくする。つまり野武士的な彼等は、誰にでも馴れるではなく

て、お世話になったお方だけ、つま

り、餌つけされた人には近づき体をすり寄せるまでになる、その反対で、見知らぬ者、いや、相性の悪いやつには、さつとあとしざり、肩をいからせ上下にあるキバで身がまえ激しく突進、我々を追たててくる。特にオスの荒さは防ぎようがなく、小さかったウリ坊が、翌年の夏頃には、はやエネルギッシュな若猪に育って、荒々しいその姿を集団で見せはじめるのである。だがしかし、餌付けされ、覚えたその土地、あの人たちへ、ヒョッコリ顔出ししたばかり今度は「猪公公害だノ」とかで射られる運命にあるとは……。六甲の若シシたち、人間どもの

騙し討ちから逃げるんだノ！

（王子動物園学芸委員／写真も）





**ホテルのたま 直営店**



**Yamato**  
ばさら

電話(078)321-6363

神戸・三宮阪急西口北側レインボープラザ1・2F

山の幸、海の恵み、季節のものを  
たっぷり使い、おいしく、美しく  
重ね重ね目出度調理いたします。

■会席の重箱盛り	
松竹梅	7,000円
松竹	5,000円
梅	3,000円



ご披露宴は「Yamato」の披露宴  
会場をご利用ください。  
50名さままでご利用になれます。

# ご婚礼のお日取り

が決まりましたら「Yamato」に「相談くださいませ。お二人の永遠の愛と  
ご両家の弥栄えを祈りつつ」「Yamato」独特の「会席料理の重箱盛り」で  
幸せのテーブルを飾らせていただきます。  
「ご婚礼披露宴は「Yamato」の出張「奉仕を」ご利用くださいませ。





## SALON KOB EjIDAI

☆ファッション時代の  
ミニサロン  
☆神戸っ子の集いの場

皆さまのサロン神戸時代は  
はやくも満一周年を迎える  
ことになりました。

まったくのミニサロンで  
すが、これからも  
皆さまの集いの場として  
また、憩いの場として  
ご愛顧いただきますよう  
よろしくお願いいたします

SALON 神戸時代

神戸市生田区中山手通1丁目28  
モンシャトーコートブキビル1F  
TEL. 242-3567



# 9月1日オープン



マスターのD.A.トーマスさんは英国ウェールズの出身。ウェールズのナショナルスポーツはラグビーですが、彼もウェールズチームの選手(レフトウイング)(足が速いので)でした。ラグビー選手は若いときから左党ですが、彼も自身自負するバブ野郎です。

〈アップランド〉は、イギリスの気安いバブの雰囲気がいっぱいの楽しくてシャレたお店です。ライブミュージックもお楽しみいただけます。

## イギリス風メニュー

ステーキ&キドニパイ・シェパーズパイ

コーニッシュパースティ・ローストビーフ

フィッシュ&チップス

J & Bスコッチ、サントリーオールド 各400円

11:00A.M.~3:00A.M.



# UPLANDS

生田区加納町3丁目1-34

☎ 241・8271

# アンダルシアの夜をあなたに



(1975.7.26のべべ・エルヴィノのショーより)

ギターの響きによって情熱の歌声が流れる  
スペインの味とフラメンコのリズム——  
エル・ヴィノの華麗な夜をお楽しみ下さい  
(第2・4土曜日はべべ・エルヴィノのショータイムです)



フラメンコの店

# エル・ヴィノ

5:00PM~2:00AM(日曜祭日12:00AM) 水曜日定休

第1・3土曜日はフラメンコ舞踊のショータイム  
神戸市生田区北野町3丁目48 アニルドマンション1階

☎ 241-1344

神戸のアーバンデザイン  
 ⑨  
 同業者町シリーズ  
 ファッション・ストリート

水谷 頤介 + チーム・UR

100

■「ファッション都市づくり」というキャッチフレーズが目立つこの頃です。それにあわせてファッション・ストリートという言葉も語られています。町並みとして神戸らしい、ファッションを感じるストリートということになると、神戸にはあちこちあるように思います。町のなかだけでなく山の上や海岸に沿った通りも、もちろん選ばれるべきでしょう。

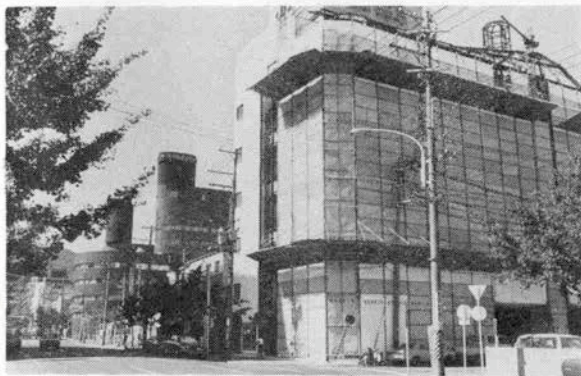
■実体としてのファッション・ストリートということになると、それは、小売としてのいいお店が並ぶいわゆるショッピング・ストリートと、ファッション商品を企画し、デザインし、製造する卸売屋さん街の二つがあります。後者の代表が三宮の中心部と港をつなぐタテのフラワーロードの本東に走る南北の通りでしょう。

■そごう百貨店とその新館の間の通りに面してはこれは小売ですが、住関係のフロアが並んでいます。それから南下すると、洋服仕立屋さんのビルや、神戸ファッションの誇るニット・ウェアのメーカーが堂々たる軒を並べています。ビルには通りに面してちよとしたショーウィンドーがついています。この通りをもっと魅力的なストリートに、ということでしたら、もっと大きなショーウィンドーや広い歩道、それもレンガなどをひいて、そして大きな街路樹を、ということにしたいものです。そして終点が商工貿易センターの超高層ビルの広場です。この広場にもう少し色どりのあるショーウィンドーケース——キオスクや万国旗などが林立している時があると楽しいのではないのでしょうか。フラワーロードは広々としてすっきり、それに対してこの通りは少し賑わしく、とコントラストが必要なのではないのでしょうか。

(水谷 頤介)



そごう百貨店別館（左）と新館（右）



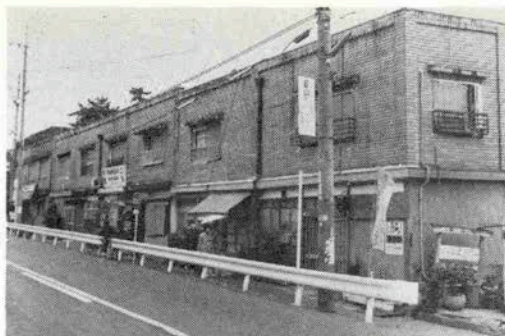
大きなショーウィンドーや広い歩道も欲しい通り

神戸のアーバンデザイン、神戸のモダンリビングが今月で100回を迎えました。これを機に第1回～第100回までの記事をリコピーして実費（価格未定、約3000円）で頒布致します。

■「タウンハウス」というテーマを意識して新しく設計された住宅を、いままでいくつかとりあげてきました。今回は、これこそ本来のタウンハウスではないかという日本版市街地のなかの住いをいくつか拾い出してみました。

■一つは、昔の店舗付長屋です。木造なのですが、タイルをはって市街地型に見せるという戦前からあった手法の典型です。小売商店というよりは、不動産屋さん、洗濯屋さんなどが利用しているようです。次は、新しい建物なのですが、昔的な雰囲気がある黒瓦、板壁の店舗付住宅です。大きなお屋敷の立派な門構えにつづいて建っていて、長屋門のごときスタイルをとっています。コンクリート、モルタル、鉄板、アルミサッシュといった新建材オンパレードの昨今の町並みのなかであって、ゆったりと落ち着いた静かなたたずまいを見せています。もう一つは、幹線道路で削られたかもしれない奥地のせまい敷地を高度利用して建設された小ビルです。道路が広くなったり、区画整無がおこなわれたりした後で見られるものとはほぼ同じスタイルで、近頃一番多くみられている町なかの典型的建築といえるかもしれません。

■一つひとつは結構お金がかかっていて、その土地条件を苦勞して生かした設計や工事なのですが町中こういう建物になっていくと、何か雑然としてきて暑っぽく、安っぽい町並みになっていくのが残念です。黒い瓦の屋根、木の戸や窓、中庭、そこからところどころに見える樹立ち、そして涼しくひんやりした室内といった日本の伝統的な風格のある町並みをつくってきた住いに負けない、市街地のなかの住い——タウンハウスの新しい典型を、もうそろそろしっかりとつくり出していかねばならないと思っています。（水谷 頌介）



タイルをはって市街地型にみせる昔の店舗付住宅（青谷）



昔的な雰囲気のある黒瓦、板壁の店舗付住宅（長田）



近頃一番多くみられる典型的な店舗付住宅（夢野）



里親をさがして14年

# 共感しあえる福祉社会を

この八月一日から四日間、神戸と大阪の里親家庭の親子、ボランティア、そして協会の職員など総勢八二名で信州の高原でファミリーキャンプを実施した。場所は長野県スキーマッカ、白馬山麓の「わらび平」。実はこの信州でのファミリーキャンプは今年で三度め。信州でこのようなキャンプを実施することができたのは、わらび平で「新雪館」というロッジを経営しておられる宮島立身・和子夫婦の無料招待によるもの。

「信州の緑の大自然のなかで思いっきり羽根をのばして遊んでほしい」という宮島ご夫妻のご好意に甘えて、この三年間毎年夏になると信州に行き、家族そろって真っ黒に日焼けしながら緑の高原で遊ぶことが子どもたちの第一の楽しみになっている。現地での宿泊費と食費はすべて無料なので参加者の負担はわずかですが、宿舎を提供してくださる方は大変な出費となる。緑の自然のなかで子ども本来の姿になって走り回る都会っ子たちはこのキャンプでそれぞれに実に貴重な体験を得て帰ってくる。子どもたちにこんな大きな楽しさと貴重な思い出を与えてくださる宮島さんご夫婦は、現代風にいえばまさに「奇篤な人」なのかもしれない。しかし考えてみれば私達のこうしたささやかな民間の福祉活動を支えてくれているのはまさに多くの「奇篤な人」たちのおかげといってもいい。

愛の手運動の運営資金の八割は一般の人たちからの寄附であり、二割が公費の補助であるところをみて、寄附をしてくださる、いわゆる世間の眼からみれば「奇篤な人」たちがいなければ公費のうらづけの少ない民間の福祉事業というものは成り立たないのかもしれない。寄附者ばかりでなく、民間企業の半分ぐらいの給与で働いている、いや、働かざるを得ない職員もまた、世間でいう変った人、奇篤な人、なのかもしれない。

事務局で仕事をしているといろんな人たちから手紙や寄附金が送られてくるのを見るのが楽しいし、その都

信州ファミリーキャンプでの記念撮影 前列右端が筆者



度感謝の気持ちでいっぱいになる。つい先日10万円を封筒に入れて名前もいわず黙って置いていた中年のご婦人があった。連絡先を覚えていたで、こちらの活動の様子をご報告したいと思って名前をたずねても、ニコニコしてだまって立ち去られた。こちらの窮状をよくご存知で、「何かのお役に立てれば」という、ただそれだけがその婦人の言葉だった。また「兵庫区の一生婦より」という匿名の寄附金が毎月送られてくる。「相生市のS・M」さんもそうだ。額は多くないが毎月五百円、千円とかならず送ってきてくださる人も多い。連絡先のわかる方にはその都度領収証とお礼状をお送りしているが、匿名で住所も名前もわからない方にはお礼の申し述べようがなく、いつも残念でならない。が、そういう方達は私達の活動をいつもどこかで見守っていてくださるようだ。その方達に直接にお礼はできなくても、私達の活動をより充実したいものにしていくことが、ご援助していただいている多くの方達に対するお礼だと私達はいつも考えている。自分に見返りのないものに対してお金を出すということはそうスムーズにはなかなかできないことで、寄附金を出す人はともすれば奇矯な人という眼でみられがちである。日本の福祉事業というものは今でもやはり関心を持つ少数の特定の人たちによって行なわれ、それを取りまく多くのいわゆる奇矯な人たちによって支えられているように思われる。福祉の世界は世間の大部分の人たちにとってはいまだ関心も関係もないと考えられている世界のようなのである。こういう日本の風土のなかでボランティアな福祉事業を継続して行うことはなかなか難しいことで、いろいろな創意、工夫、努力、手腕などが必要であらう。とくにここ二、三年のようないんフレと不況ムードがつづく、公費のうらづけ

の少ない、あるいは全くない民間の福祉事業の運営は窮地に追いこまれてくる。私達の協会も例外ではなく、昨年暮には運営資金が底をつき、職員の給与すら支払うことがでなくなった。幸い神戸市から特別に補助金を交付していただき何とか急場をしのぐことができたが、今年度も年度末までにかんがりの資金が不足しそうである。

福祉事業の大部分は日常の業務が収益事業ではないために出費は増えても収入の見通しがなく、従って公費の補助の少ない民間の福祉事業では本来の業務以外に何らかの収益事業を別に行なわねば運営が成り立たなくなってくる。もともと極めて少ない資金で、最少限度の職員で毎日の仕事に追われている現状では本来の業務以外に収益事業を行うことは大変困難であり、無理を承知で行うと職員が過労で倒れたり、本来の福祉事業そのものができなくなってしまう恐れがある。公費の補助が増えればそれだけ民間の事業としての自主性や独立性がそこなわれてしまうこともあり、このへんが民間の福祉事業の難しさであらう。ともあれ、協会の行ってきた里親開拓運動は、従来児童福祉行政のなかで行なわれてきたものを民間サイドのアイデアで行政と協力しながら行ってきたもののなかののだが、こうした福祉活動というものは行政だけの手にゆだねておけばすむものでなく、むしろ市民のなかから声を上げて積極的に取りくみ、行政がそのバックアップをするという民間主導型の姿勢にもっていくのが望ましい姿だと思われる。市民のなかからなの自発的なエネルギーが生まれてこないことには共感しあえる福祉社会は形成されにくい。一部の奇矯な人の福祉から一般市民への福祉へとそのひろがりをめざしたいものである。

#### ☆読者のみなさんへ

家庭養護促進協会では財政のゆきづまりを何とか乗り越えてよりよい活動を続けていくためにこのたび写真のようなチャリティボックスをつくりました。幅10センチ、高さ20センチほどの小さな箱ですが、このボックスを神戸市内の集会所、商店、喫茶店、レストラン、スタンド、各会社等に置いていただいて一般市民のみなさまのご援助をいただければと願っております。どなたかご協力いただけるお店がございましたら左記までご連絡ください。

神戸市生田区橋通三丁目一番地 総合福祉センター二階  
社団法人 家庭養護促進協会 第三四一五〇四六

